

お宝 No.21 如来の首 (佐井村)



2020 年 6 月 2 日撮影

巨大なお宝 仏ヶ浦

仏ヶ浦は海底火山の噴火で海底に積もった火山灰が押し固められた岩でできています。隆起して陸上に出てきてから、海流や風雨、凍結によって少しずつ侵食されて今の形になりました。特徴的な形をしたそれぞれの岩には、仏教や霊界を連想させる名前がつけられています。

仏ヶ浦 (ほとけがうら) の情報

- ☐所在地 青森県下北郡佐井村
 - ☐交通 津軽海峡文化館アルサスから車で 40 分
 - ☐注意 仏ヶ浦駐車場から徒歩 15 分程度かかります。急なアップダウンがあるのでご注意ください。
 - ☐新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、佐井～仏ヶ浦の観光遊覧船は運休しています。(6/20 現在) 7/1 から運行再開予定の観光船もありますが、最新情報は、佐井定期観光(株)、仏ヶ浦海上観光(株)へお問い合わせください。
- なお、「夢の平成号」の今年度の運航はございません。

お知らせ

斗南ヶ丘の東屋に看板が設置されました！

「下北ジオパーク応援 project」(ものづくりでまちづくり実行委員会)によって建設された斗南ヶ丘牧場ミルク工房ボン・サーブの敷地内の東屋に、斗南ヶ丘の成り立ちを紹介する看板が設置されました。

下北ジオパーク認定商品である「のむヨーグルト」や「ジオジェラ」などを食べながらぜひご覧ください！



新エリア紹介

下北ジオパークでは、今年度新たに 2 つのエリアを、下北ジオパークの価値を伝える場所として設定しました。今月号では大間町の津鼻崎エリアを紹介します。

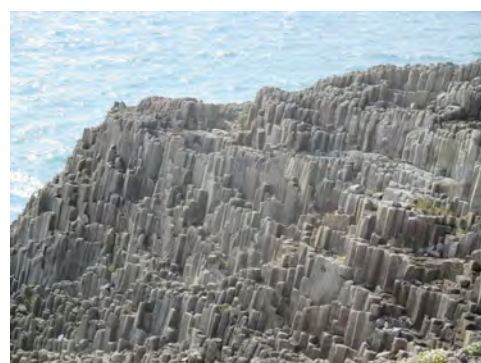
津鼻崎エリア TSUBANAZAKI AREA

津鼻崎エリアは、大間町と佐井村境界付近に位置し、津軽海峡に面しています。

木々が生い茂る遊歩道を通り抜けると、視界の広がりとともに高台から海をはさんで北海道を眺められ、その眼下に見事な柱状節理を見ることができます。

津鼻崎は約 800 万年前の火山岩で構成されており、津鼻崎はデイサイト溶岩でできています。

津鼻崎のある材木地区を始め、大間町から佐井村にかけては、柱状節理を「材木石」と呼び、材木のように積み重ねたり並べたりして古くから利用していました。現在でも活用の様子を見ることができます。



活動報告

「出前講座@むつ工業高校」

5/29 に、石川推進員が今年度初の出前講座を行いました。今回の受講者は、今年度ジオパーク教育促進事業費補助金を受けてプログラムに臨むむつ工業高校 3 年生 7 名。

プログラムに携わるスタートとしての講座で、「ジオパーク」や「下北ジオパーク」について話しました。

生徒からは、事前に調べたジオパークについてやこれまで知っていた下北の見所についての知識が深まったという感想をいただきました。



※十分な座席間隔と換気に気をつけ、マスクを着用して講座を行っています。

編集後記

今回紹介した津鼻崎エリアの見どころは、柱状節理！柱状節理の景観は、日本人だけではなく世界各国の人々も好んでおり、世界遺産に登録されている場所もあります。ちなみに、下北ジオパークでも様々な地点でも見ることができます。（アルサス付近や川内川大滝など）場所によって太さや大きさはいろいろ。お気に入りの柱状節理を見つけるお出かけも楽しいかもしれません。

【発行元・お問い合わせ】

下北ジオパーク推進協議会 事務局

☎0175-22-1111 （むつ市ジオパーク推進課内）



公式 HP



facebook

下北ジオパーク

検索